

## 会 議 録

1	会議名称	令和4年度 第1回 宝達志水町地域公共交通協議会
2	会議日時	令和4年6月30日（木）午前9時30分～午前11時30分
3	出席委員	<p>宝達志水町区長会 副会長 松井良久</p> <p>宝達志水町老人クラブ連合会 会長 林一郎</p> <p>宝達志水町健康づくり推進員 会長 松田文江</p> <p>宝達志水町社会福祉協議会 事務局長 下次勇</p> <p>宝達志水町商工会 会長 市村昭代史</p> <p>宝達志水町立宝達志水病院 事務局長 松田英世</p> <p>西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部 部長 江下喜久夫【代理者が出席】</p> <p>(株)敷浪タクシー 代表取締役 源野正和</p> <p>北陸信越運輸局石川運輸支局 首席運輸企画専門官 打越利子【代理者が出席】</p> <p>石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 主任企画員 島内理名【代理者が出席】</p> <p>公立小松大学 特任教授 高山純一</p> <p>羽咋警察署交通課 課長 大野弘志</p> <p>石川県羽咋土木事務所維持管理課 課長 瀬戸秀樹</p> <p>宝達志水町副町長 大岩慎一</p> <p>宝達志水町環境安全課 危機管理監兼課長 藤井博樹</p> <p>宝達志水町健康福祉課 課長 定免文江</p> <p>宝達志水町学校教育課兼統合小学校準備室 課長兼室長 安達大治</p> <p>【計：17名】</p>
4	事務局	(企画情報課) 大下佳子課長、定免忠史課長補佐、松本宗久主幹
5	議 事	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>本日は、令和4年度第1回地域公共交通協議会への出席いただき、ありがとうございます。本協議会では、皆様の協力のもと令和2年度と3年度に審議を重ね、地域公共交通計画を策定した。計画策定時に実施したアンケート調査では、町民の移動手段の8割以上が自家用車であり、「将来的には運転をやめたい」と思っている方が70歳以上の半数以上であった。そのため、高齢の方々が安心して生活できるよう、交通環境の整備は喫緊の課題であり、今年度は、地域公共交通計画の施策を実行に移していくこととなる。持続可能なまちづくりのためには、町民の理解と協力が不可欠であり、皆様には忌憚のないご意見をお願いしたい。</p> <p>2 議事次第</p> <p>報告案件</p> <p>(1) 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について</p>

(2) 報告第2号 コミュニティバス事業について

議事案件

- (1) 議案第1号 令和3年度決算の承認について
- (2) 議案第2号 令和4年度予算の承認について
- (3) 議案第3号 コミュニティバスのルート(案)について
- (4) 議案第4号 南北シャトル便のルート(案)、料金設定について
- (5) 議案第5号 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について

○質疑応答

報告案件

- (1) 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について  
※事務局の説明後、質疑なし。

- (2) 報告第2号 コミュニティバス事業について

松田委員：コミュニティバス利用者数について、令和元年度から令和2年度にかけての東回りの減少が大きいですが、なにか理由はあるのか。

事務局：全体的に各停留所の利用減の積み上げで減少しているが、東回りでは菅原など特に減少が多い停留所があるためだと考えられる。

議事案件

- (1) 議案第1号 令和3年度決算の承認について
- (2) 議案第2号 令和4年度予算の承認について

大岩会長：意見や確認したいことはあるか。特になければ、決議を取りたい。

※一同、異議なし。

大岩会長：異議がないようなので、議決としたい。

- (3) 議案第3号 コミュニティバスのルート(案)について

大岩会長：コミュニティバスの内容について、意見はあるか。

健康福祉課：現在のコミュニティバスは、全ルートが町役場やアステラスなどの行政施設、宝達志水病院を經由していたが、新ルートでは一部ルートのみでの経由となった。再編の考え方としては、行政施設を一律に網羅するのではなく、利用実績やニーズに基づいて設定された、という認識でよいか。

事務局：再編案の検討は、これまでの乗降データや利用者ニーズを踏まえながら、運行の効率化が図れるよう、実施している。

林委員：「集落からの要望で停留所を新設した」との説明があったが、新設に当たっての条件として、例えば要望者数などの基準はあるのか。

事務局：明確な基準は設けておらず、今回は区長からの要望を受けて、追

加を検討した。基本的には、区長から設置要望があれば、運行ルートやダイヤを踏まえながら、追加可能かは検討していきたいと考えている。

大野委員：昨年度の乗降実績では「今浜会館前」の利用者が多いが、新ルートでは押水地区から今浜会館に行きづらくなっている。「今浜会館前」を利用する固定客に対応できるのか。

事務局：「今浜会館前」の乗降客のほとんどが宝寿荘利用者であり、目的地として「今浜会館前」で下車することはほとんどないため、固定客の減少にはつながらないと考えている。

下次委員：新ルートでは、志雄地区からアステラスに行くことができないが、志雄地区の方でアステラスの利用ニーズはないのか。

事務局：ご指摘の通り、無料のコミュニティバスでは、志雄地区から直接アステラスへ向かう便がない。しかし、これまでの地域公共交通計画で議論や乗降実績などを鑑みると、アステラスでの乗降人数が少なく、運行ルートの効率化・最適化の観点から、このようなルート設定になった。

下次委員：アステラスに手続きで来訪された方に、町役場の訪問を案内することが年に何回かある。アステラスから役場へ向かう移動ニーズがあるのではないか。

事務局：コミュニティバスはスクールバスを活用しているため、運行時間帯に制約がある。現在のルートは短時間で運行できる最適なルートであると考え。アステラスから町役場へは需要が多くあるわけではないので、その場合はデマンドタクシーを活用していただきたい。

環境安全課：押水ルートの午後の帰りのアステラス発時間を早めれば、宝達駅西口や宝寿荘で町役場行きの便に乗り継ぐことができるので、検討してみはどうか。

事務局：ご指摘の通り、乗り継ぎを考慮すればアステラスから町役場に行くことができるので、事務局でもう一度、ダイヤを検討したい。

大岩会長：アステラスと町役場への接続方法について意見があったため、事務局で再度検討してほしい。

#### (4) 議案第4号 南北シャトル便のルート（案）について

大岩会長：南北シャトル便のルートや料金設定について、意見はあるか。

長谷川委員：デマンドタクシーは今まで通り変わらないという認識でよいか。

事務局：デマンドタクシーの運行形態は変わらないが、料金設定について、旧町域を跨ぐかどうかで差を設ける変更をしている。

長谷川委員：押水地域から羽咋病院に行く場合、デマンドタクシーと南北シャトルの料金が同じであれば、今まで通りデマンドタクシーを利用する可能性があり、南北シャトル便の新設がデマンドタクシーの

負担低減につながるのか。

事務局：これまでの利用実績では、旧押水地区と宝達志水病院間の利用が多い。この区間の料金は、南北シャトルでは300円のため、南北シャトルとデマンドタクシーの役割分担につながると考えている。

源野委員：宝達志水病院や羽咋病院を利用する方には、朝早くに病院の受付を済ませたいというニーズがあるが、現在のデマンドタクシーの運行時間帯ではニーズに応えることができていない。南北シャトル便の第1便の時間帯は、デマンドタクシーより早いため、利用者の潜在的なニーズに応えられると考えている。

大岩会長：南北シャトル便のルート案・料金設定について特に異議がないため、今回の議案を承認する。

(5) 議案第5号 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について

大岩会長：意見や確認したいことはあるか。特になければ、決議を取りたい。

※一同、異議なし。

大岩会長：異議がないようなので、議決としたい。

総評

大岩会長：最後に、協議会副会長の高山先生より、総評をお願いしたい。

高山副会長：本日は、報告案件が2件、議事案件が5件あった。まず、報告案件のデマンドタクシー事業の運営状況については、昨年度は一昨年度と比較して若干利用者数が増えており、私の計算では収支率が18～19%程度であり、地方のデマンドタクシー事業としては何とか成り立っている状況だろう。年間延べ400人程度の方が利用し、年間1,500万円程度の支出のため、目安ではあるが1人あたり4万円弱の事業であるともいえる。一方、コミュニティバスについては、1日1往復の運行で、料金収入がないので、この町においてはシビルミニマム的な福祉バスのような役割の運行となるだろう。

今年度の10月からは、新たに南北シャトル便を設け、長距離と短距離の役割を分担し、料金形態を見直しながら運行していく。デマンドタクシーは近距離をドア to ドアできめの細かいサービスで担い、時間に余裕がある方はこれまで通りコミュニティバスも使える。南北シャトル便は長距離を分かりやすいルートで運行し、停留所を利用できる方が使うという形になる。来年度の協議会では、経費や利用収入が明らかになるので、役割分担やサービスレベルの調整を図ればよいだろう。

いずれにしろ、この程度の金額でドア to ドアのデマンドタクシーを運行しており、収支率も2割弱であるため、まずまずの地域

	<p>公共交通になっていると感じる。他都市では70歳以上無料などの施策により、収支率が5%以下になるようなところもある。自治体によって地域公共交通に関する考え方が異なるので、違いがあるのはいいことだが、地域公共交通を何らかの形で維持していかなければ、地域の崩壊につながってしまうだろう。また、収支率だけではなく、住民の健康寿命などといったクロスセクター効果を計ることで、地域公共交通の目には見えない効果を示していけるので、よいだろう。</p> <p>大岩会長：評価もいただき、さらにご提案もいただいた。引き続き、住民にとって使いやすい地域公共交通を検討していきたい。議案第3号のコミュニティバスのルート（案）については、引き続き検討していく。以上で、第1回宝達志水町地域公共交通協議会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">閉会</p>
6 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 第1回 宝達志水町地域公共交通協議会 次第</li> <li>・宝達志水町地域公共交通協議会委員名簿</li> <li>・資料No.1 報告第1号 デマンドタクシー事業の運営状況について</li> <li>・資料No.2 報告第2号 コミュニティバス事業について</li> <li>・資料No.3 議案第1号 令和3年度決算の承認について</li> <li>・資料No.4 議案第2号 令和4年度予算の承認について</li> <li>・資料No.5 町内公共交通の改編案について（議案第3号 コミュニティバスのルート（案）について、議案第4号 南北シャトル便のルート（案）、料金設定について）</li> <li>・資料No.6 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について</li> </ul>